

# 胚移植当日の流れ

## 《注意事項》

- \* 胚移植前日、当日、両日とも日常生活に制限はありません
- \* 胚移植には強い痛みを伴わないので麻酔は使用しません
- \* お化粧やコンタクトレンズもそのままで大丈夫です
- \* 胚移植をスムーズに行えるよう1時間前から排尿せず尿をためて来院してください
- \* 胚移植日の来院時間は診察時にご案内します  
希望の時間をお取りすることはできません
- \* 来院からご帰宅までの目安は1時間～1時間半となります
- \* 安静室には奥様以外入れません。  
ご主人が培養士からの説明を希望される場合は、後日培養士外来をご利用ください
- \* 普段お子様連れで通院されている方であっても、胚移植日はお子様連れでの来院はできませんのでご了承ください

### **持ち物**（新鮮胚移植の場合） （融解胚移植の場合は p.54 参照）

- 診察券
- スケジュール表
- 昼用ナプキン1枚

※荷物は最小限でお願いします。  
盗難、紛失を防ぐため高価なバッグ・装飾品等、  
食品（生鮮食品等）の持ち込みはご遠慮ください。

胚移植当日の胚（受精卵）の状態によって胚移植が延期になったり、中止することがあります。  
新鮮胚移植の予定でも全て凍結になる場合もあります。

## <来院～胚移植まで>

- ① 指定された時間に来院し、4階受付に声をかけてください
  - ・診察券、スケジュール表を提出してください
- ② 血圧、体重を測定します
- ③ 安静室にご案内します（着替えはありません）
- ④ 培養士よりお名前、生年月日の確認と移植する胚について説明があります
- ⑤ 医師より今後のスケジュール（妊娠判定日など）や処方薬について説明があります

## <手術室入室～胚移植終了まで>

- ⑥ 手術室に移動し、胚移植します
  - ・腔内を生理食塩水で洗浄します
  - ・腹部から超音波をあてて子宮の位置を確認します
  - ・培養士が胚移植用のカテーテル（チューブ）に胚をセットします
  - ・カテーテルを子宮に挿入し、胚移植します
  - ・胚移植後、カテーテル内に胚が残っていないか確認して終了です（黄体ホルモンの腔坐薬を挿入する場合があります）
  - ・胚移植時間の目安は約10分です（個人差があります）

※ 胚移植終了後の安静時間はありません

## <胚移植終了後～会計まで>

- ⑦ 5階処置室にて処方薬の腔坐薬をお渡しします（注射がある場合もあります）
- ⑧ 会計後にご帰宅ください

※ 胚移植後、医師とのお話はありません

## < 胚移植後から妊娠判定日までの過ごし方 >

- ・ 胚移植当日はなるべく静かにお過ごしください
- ・ 胚移植当日は入浴しないでシャワーのみにしてください
- ・ 翌日からはいつも通りの生活で構いません
- ・ 夫婦生活、タンポンの使用は控えてください
- ・ 卵巣が腫れていることもあるため、激しい運動は避けてください
- ・ 脱水にならないようにこまめに水分摂取するよう心がけましょう
- ・ 出血がある場合もありますが、少量であれば様子を見てください  
月経2日目のような多量の出血がある場合はご連絡ください

妊娠に対する期待と不安が高まり、ストレスが高まる時期といわれています。

ご夫婦でたくさんお話ししたり、上手に気分転換をしながらリラックスして過ごしましょう。

### ※注意※

- ・ お腹の張りが強い
- ・ ひどい腹痛・腰痛がある
- ・ 尿の出る量が少なくなった
- ・ 体重が異常に増えた
- ・ 息苦しい など

症状があるときは必ずご連絡ください

